

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新年を御家族揃ってお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返れば、一昨年に引続き新型コロナウイルス感染症の波が次から次に襲い掛かり、まん延防止措置、緊急事態宣言などコロナウイルスとの闘いに明け暮れた年でもありました。そんな中でもワクチン接種が進み、全国では11月後半から急激に感染者数が減少し始めました。村では対象者の約90.9%の方に2回の接種を受けていただくことができ、少しずつではありますがコロナ前の日常を取り戻し、後半には成人式を始めいくつかの事業を開催することができ、希望が持てる年末となりました。これもひとえに村民の皆様の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今年の干支は寅です。そして私は1950年生まれの年男です。虎にまつわる格言で「虎は千里を行って千里を帰る」というのがあり、私も年男らしく飛躍の年にしたいと思っています。

現在、村では令和4年度の予算編成を行っており、その中からいくつかの重点政策を紹介すると、なんと言っても新型コロナウイルス感染症から村民の皆様を守ることが一番であり、新たな変異株「オミクロン株」の感染者が全世界で増えつつある中、これに対応するためにも3回目のワクチン接種、情報の提供、資機材の整備、影響を受ける産業の支援、子育て家庭や高齢者の皆様の生活支援を国・県の交付金を活用し、切れ間無く実施して行く必要があります。

次は移住・定住促進事業の促進です。人口減少対策と空き家の活用は本村にとって重要な課題と考えており、常に制度を見直し移住定住の促進を目指すこと、併せて空き家の解消に努めてまいりたいと考えております。

また、自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)体制の整備を掲げております。行政サービスのデジタル活用については、本村の人口規模に合うサービスの検討とデジタル人材の確保に努める必要性があり、村内での働き方改革、DX時代にも遅れない取り組みが必要と考えております。

次は集落支援員制度を活用した自治会活動と営農の支援です。国の制度事業も活用し全体計画の作成と、令和5年度を事業開始とするモデル地域での実証実験に挑戦してまいります。

また、人口規模にあった適正な装備計画を策定するとともに、国・県の指導もあり、時代の要請に即した消防団員の待遇改善を行ないたいと考えております。

次に茶産地構造改革事業の推進です。第2段階の茶産地構造計画を確実に実施し、持続性のある産業とすることが継続して重要と考えております。

更には、第三セクターの経営改善です。経営改革途中にある有限会社新世紀工房と株式会社ふるさと企画は、代表取締役としても改善計画を達成し、負債の額の減少を図ることが重要なことと考えています。

そして、子育て支援の改革です。真に村民の皆様が求める子育て、持続性のある支援策の確立が重要であると思っています。

以上、令和4年度予算の編成方針から重点施策の一端を紹介いたしました。もちろん、医療福祉の充実、国・県・村道の道路インフラの整備、防災対策、地域経済の活性化、農林商工業の支援などについても継続してまいります。

新年にあたり所信の一端を御説明し、今年一年が皆様にとって素晴らしい年になることをお祈り申し上げます。新年のごあいさつと致します。